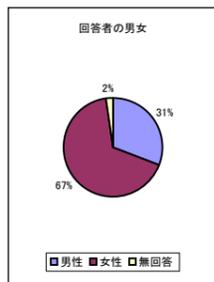


アンケート回答率

発送数	800
有効回答数	405
実回収率	50.6%

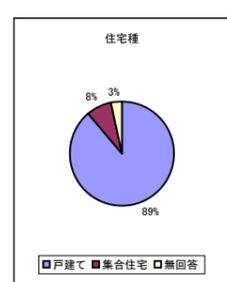
問1 回答者の男女別

男性	125
女性	271
無回答	9
	405



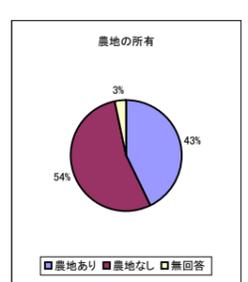
問1 住居種

戸建て	360
集合住宅	32
無回答	13
	405



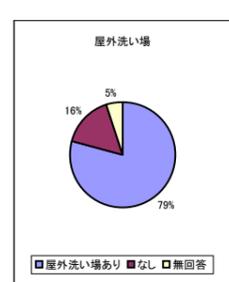
問1 農地の有無

農地あり	173
農地なし	219
無回答	13
	405



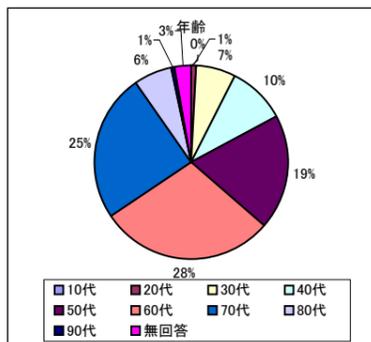
問1 屋外洗い場の有無

屋外洗い場あり	321
なし	64
無回答	20
	405



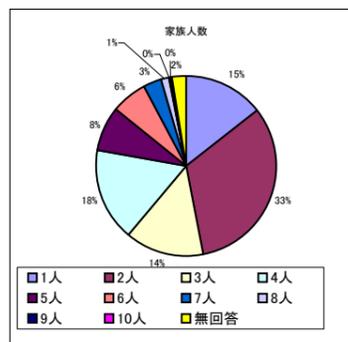
問1 回答者の年齢

年齢	人数	割合
10代	0	0.0%
20代	3	0.7%
30代	27	6.7%
40代	40	9.9%
50代	77	19.0%
60代	118	29.1%
70代	101	24.9%
80代	25	6.2%
90代	3	0.7%
無回答	11	2.7%
	405	



問1 世帯の人数

人数	世帯数	割合
1人	59	14.6%
2人	131	32.3%
3人	58	14.3%
4人	67	16.5%
5人	33	8.1%
6人	26	6.4%
7人	13	3.2%
8人	6	1.5%
9人	1	0.2%
10人	1	0.2%
無回答	10	2.5%
	405	



※回答者の約7割が女性であった。
 ※屋外の洗い場を持つ家庭が約7割あった。
 ※回答者の約6割以上が60歳以上であった。

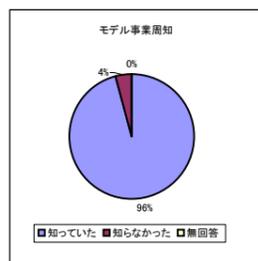
問2 普段の生ごみの処理方法

可燃ごみ	277
自家処理	87
出ない	2
可燃と自家処理	34
無回答	5
	405



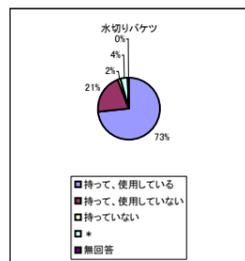
問3 モデル事業の周知

知っていた	388
知らなかった	17
無回答	0
	405



問4 水切りバケツの所持?

持って、使用している	297
持って、使用していない	84
持っていない	7
*	15
無回答	2
	405



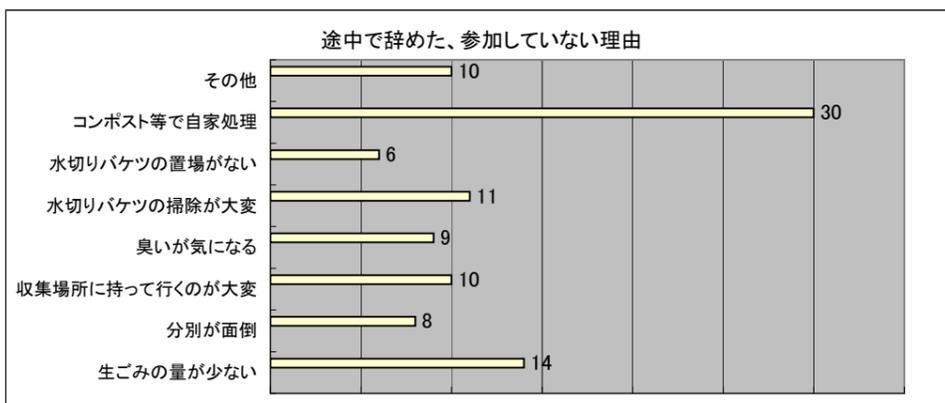
問5 生ごみ分別収集への参加?

継続参加	293
途中で辞めた	21
参加していない	72
*	15
無回答	4
	405



問5-2 途中で辞めた、参加していない理由

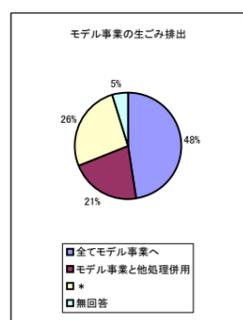
生ごみの量が少ない	14
分別が面倒	8
収集場所に持って行くのが大変	10
臭いが気になる	9
水切りバケツの掃除が大変	11
水切りバケツの置場がない	6
コンポスト等で自家処理	30
その他	10



※アンケート上では、約7割の人が分別収集に継続的に参加。
 ※分別に参加していない理由は、家庭で自家処理しているという人が一番多かった。

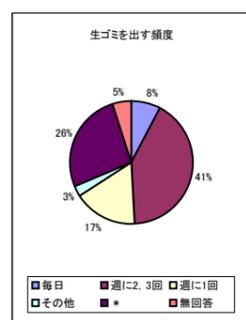
問6 モデル事業の生ごみ排出

全てモデル事業へ	192
モデル事業と他処理併用	87
*	107
無回答	19
	405



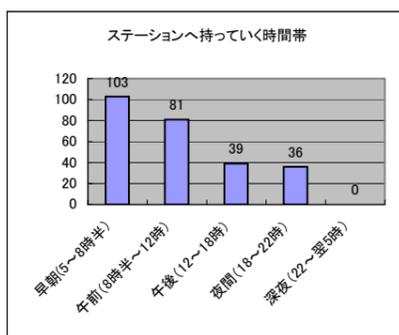
問7 ステーションへの排出頻度

毎日	32
週に2、3回	167
週に1回	68
その他	11
*	107
無回答	20
	405



問8 ステーションへの搬出時間帯

早朝(5~8時半)	103
午前(8時半~12時)	81
午後(12~18時)	39
夜間(18~22時)	36
深夜(22~翌5時)	0
*	107
無回答	39
	405

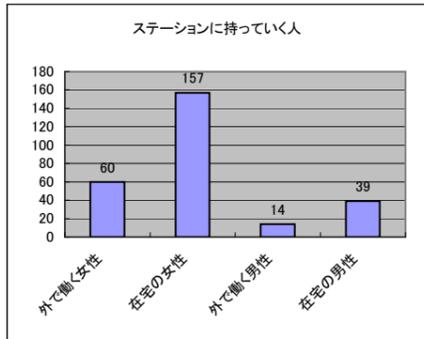


問9 ステーションへの搬出者

外で働く女性	60
在宅の女性	157
外で働く男性	14
在宅の男性	39
*	107
無回答	28
	405

217 ※女性

270 ※回答者

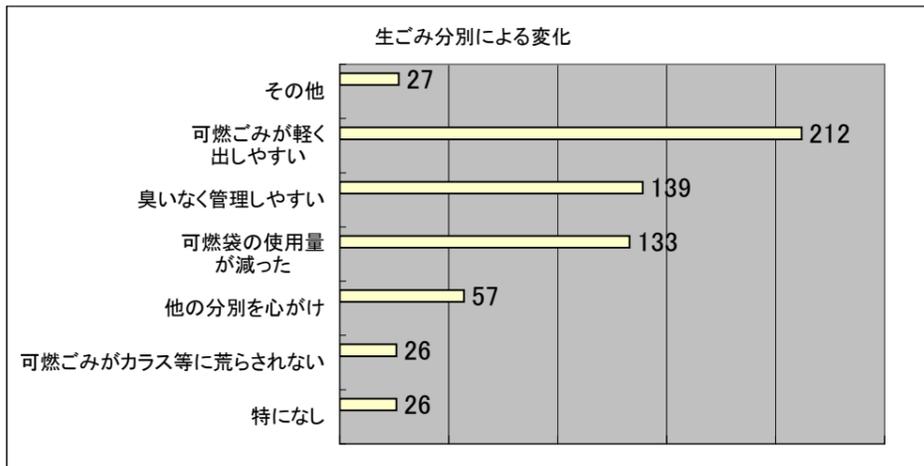


※ 49%の世帯がステーションへは、「毎日出す」「週に2・3回出す」としている。
 ※ 8時半までに出す人が多いが、午前、午後、夜間、に出す世帯も少なくない。
 ※ ステーションに出す人は、80%(217/270)が女性である。

問10 分別収集のメリット

特になし	26
可燃ごみがカラス等に荒らされない	26
他の分別を心がけ	57
可燃袋の使用量	133
臭いなく管理しやすい	139
可燃ごみが軽く出しやすい	212
その他	27

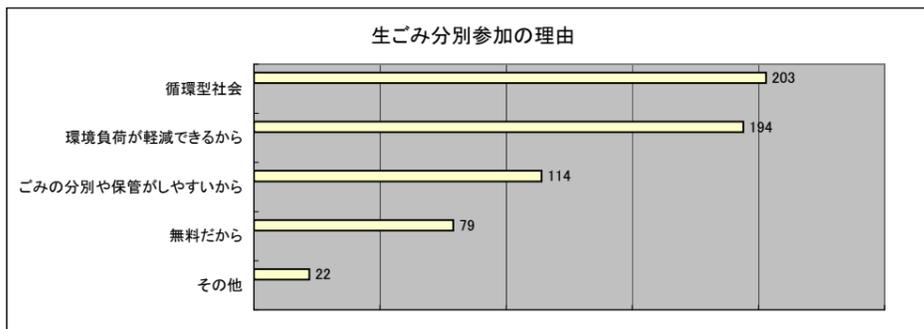
※今回のモデル事業では、家庭における多くのメリットを確認していただいた。(右図)



問11 分別収集参加の理由

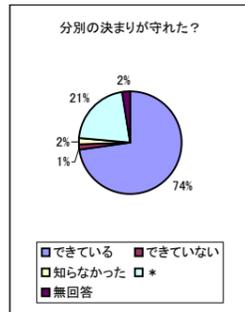
その他	22
無料だから	79
ごみの分別や保管がしやすいから	114
環境負荷が軽減できるから	194
循環型社会	203

※分別収集に参加された方は、循環型社会や環境問題に関心のある人が多い。



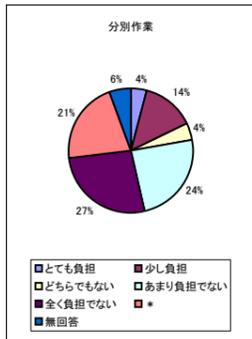
問12 分別の決まりが守れましたか？

できている	295
できていない	6
知らなかった	8
*	86
無回答	10
	405



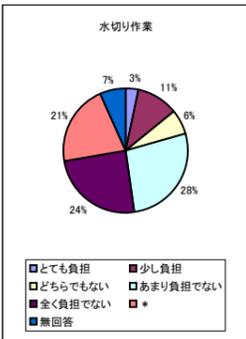
問13-1 分別の負担感

とても負担	17
少し負担	55
どちらでもない	18
あまり負担でない	98
全く負担でない	108
*	86
無回答	23
	405



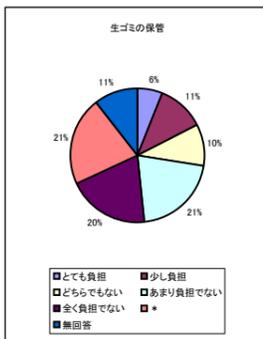
問13-2 水切りの負担感

とても負担	13
少し負担	44
どちらでもない	26
あまり負担でない	110
全く負担でない	99
*	86
無回答	27
	405



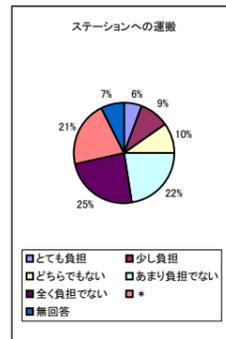
問13-3 保管の負担感

とても負担	25
少し負担	46
どちらでもない	40
あまり負担でない	85
全く負担でない	80
*	86
無回答	43
	405



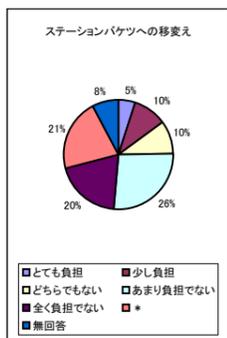
問13-4 運搬の負担感

とても負担	24
少し負担	38
どちらでもない	39
あまり負担でない	91
全く負担でない	97
*	86
無回答	30
	405



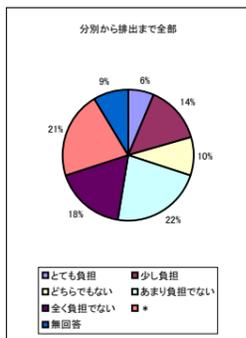
問13-5 移し変えの負担感

とても負担	20
少し負担	41
どちらでもない	39
あまり負担でない	108
全く負担でない	79
*	86
無回答	32
	405



問13-6 全体での負担感

とても負担	26
少し負担	57
どちらでもない	39
あまり負担でない	91
全く負担でない	71
*	86
無回答	35
	405



※分別の決まりを守れたという人は多い。実際収集した生ごみも、異物は少なかったが、どうしてもラップやビニールなどの異物が入る。
 ※生ごみの分別を負担でないという人は多いが、とても負担に感じる人も。

問14 ステーションについて

問14-1 においに不満

とても不満	14
少し不満	35
どちらでもない	50
あまり不満でない	72
全く不満でない	101
*	86
無回答	47
	405

問14-2 清潔さに不満

とても不満	13
少し不満	24
どちらでもない	56
あまり不満でない	76
全く不満でない	97
*	86
無回答	53
	405

問14-3 回収数に不満

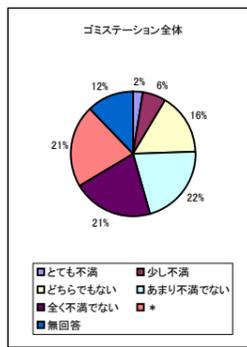
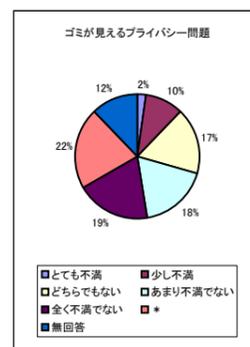
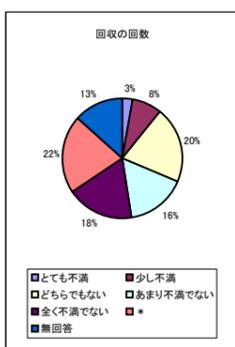
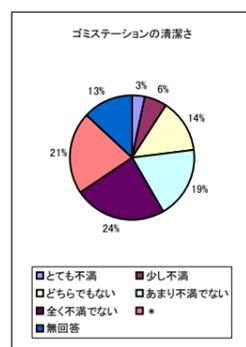
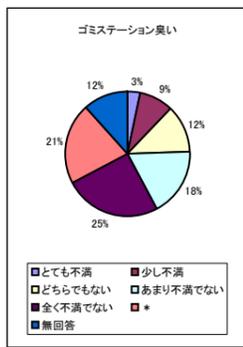
とても不満	11
少し不満	33
どちらでもない	83
あまり不満でない	65
全く不満でない	73
*	86
無回答	54
	405

問14-4 プライバシー保護に不満

とても不満	9
少し不満	41
どちらでもない	69
あまり不満でない	73
全く不満でない	78
*	86
無回答	49
	405

問14-5 全体に不満

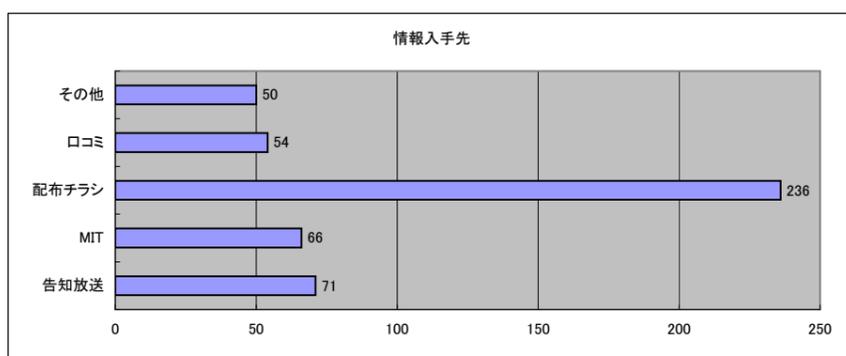
とても不満	10
少し不満	25
どちらでもない	64
あまり不満でない	85
全く不満でない	85
*	86
無回答	50
	405



※ステーションについての不満は、8%程度ある。全体的には負担に感じられる人は少ない。

問15 生ごみ分別収集の情報入手先

告知放送	71
MIT	66
配布チラシ	236
口コミ	54
その他	50



※周知には、自治会長にご協力いただいた配布チラシが一番有効であった。その他の内容についても、自治会長により説明があったという答えが多くあった。

問16 生ごみ肥料の使用

購入して使用	35
無料なら使用	189
使う場所がない	113
使いたくない	6
無回答	62
	405

問17 生ごみ肥料でできたお米と野菜

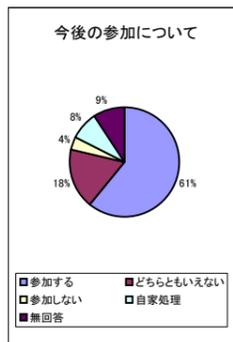
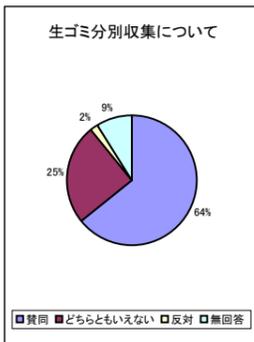
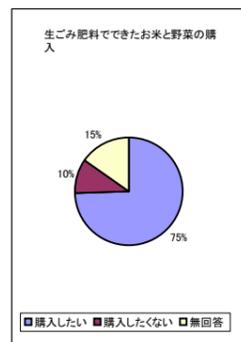
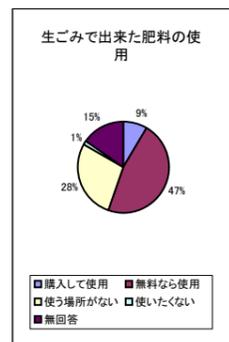
購入したい	302
購入したくない	41
無回答	62
	405

問18 生ごみ分別収集に賛同？

賛同	260
どちらともいえない	101
反対	8
無回答	36
	405

問19 生ごみ分別に今後参加する？

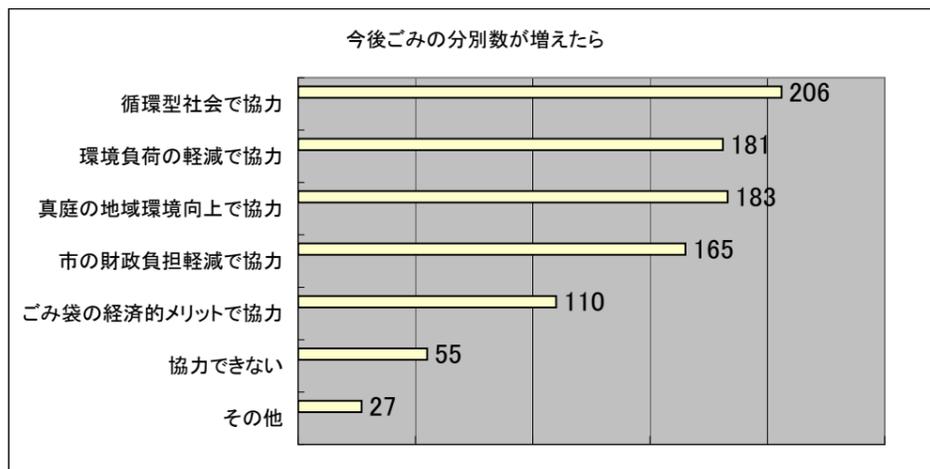
参加する	246
どちらともいえない	72
参加しない	16
自家処理	34
無回答	37
	405



※生ごみからできた肥料を使用したい、また、この肥料でできた野菜を食べたいという意見は多い。
 ※生ごみの分別収集に今後参加する人と自家処理する人で約7割を占める。参加しないという意見は少ないが、どちらとも言えないという意見が約2割ある。

問20 生ごみ以外で今後分別数が増えたら？

その他	27
協力できない	55
ごみ袋の経済的メリットで協力	110
市の財政負担軽減で協力	165
真庭の地域環境向上で協力	183
環境負荷の軽減で協力	181
循環型社会で協力	206



※ごみの分別数が増えても、循環型社会に繋がりが、環境や財政面で有効なら協力できるという意見が多い。